

アーネスト・パドレイグ Ernest Padraig



パドレイグ卿

0	52	104	156
	51	103	155
			208

〈自然〉難易度：18 パドレイグ卿、
中型・自然・人型、ヒューマン

〈自然〉難易度：26 パワー

冬越村を治める悩める領主は何よりも村の安全に心を砕いているが、彼には村の境界とその向こうもしっかりと見えており、その周囲で起こる脅威が領地に影響を与えることを懸念している。

アーネスト・パドレイグ卿は冬越村の世襲領主であり、既知世界の辺境に築かれた城砦において、数世紀に渡りあらゆる脅威に立ち向かってきた開拓者と英雄の末裔だ。彼は有能な兵士にして理性的な領主だが英雄ではない。彼は村の周囲に危険が潜んでいることを看破するほどに賢明だが、彼にはこれらの脅威に対して境界を越えて派兵する権限を持っておらず、また単独でそれらに対峙するほどの冒険者魂も持ち合わせていない。そのため、彼は荒野の脅威が村の境界に押し寄せる前に、冒険者が危険を排除することに期待している。

容姿：パドレイグは丈高く、ほっそりとした男性のヒューマンだ。暗い色の髪はごましおとなりつつあるが、顔はいまだ若々しい。彼は年代を経た豪華な衣類をまっており、ベルトにロングソードを佩いている。

価値観：パドレイグの関心は冬越村の安全に向いている。彼は村の世襲領主という地位を真剣に受け止めており、そのため彼の先祖が数世紀に渡って荒野の中に文明の前哨を守り続けた歴史を受け継ぎたいと望んでいる。彼は冬越村の長老陣や指導者たちに敬意を払っているが、彼には見えている境界の向こうの脅威を、彼らが見ようとしていない事実で落胆している。

品行：パドレイグは誇り高く、洗練されており、そして頑固だ。彼は自身が侮られていると感じると即座に激怒するが、謝罪に対しては鷹揚だ。冒険者が彼の依頼する最初のクエストを完了したなら、彼はすぐに腹藏のない友として遇する。

便利な知識：パドレイグは大修道院のおおよその歴史に精通しているが、その構造や公式非公式を問わず住民については知識がない。彼は“王の街道”を荒らしている盗賊団が、ここを隠れ家にしていてと考えている。彼はネンティア谷の全般に通じており、冬越村については自身の手の甲のように熟知している。彼は村の誰からも歓迎されている。

パドレイグ卿 Lord Padraig	レベル10 精鋭 兵士役(指揮)
中型・自然・人型、ヒューマン	XP1000
hp: 208 ; 重傷値 104	イニシアチブ +9
AC 26 ; 頑健 23 ; 反応 22 ; 意志 21	感覚 〈知覚〉+7
移動速度：5	
セーヴィング・スロー：+2	アクション・ポイント：1

特徴

スロートニング・リーチ／機会攻撃の間合い
パドレイグ卿は自身より2マス以内の敵に対して機会攻撃を行なうことができる。

標準アクション

④：ハルバード(〔武器]) ◆ 無限回
攻撃：近接・2(クリーチャー1体)；+16 対AC
ヒット：2d10 +7 ダメージ、目標は減速状態になる(セーブ・終了)。
↓：ウィーリング・ハルバード／鎧矛旋舞 ◆ 無限回
効果：パドレイグ卿は2体のクリーチャーに対し、それぞれハルバード攻撃を行なう。

↓：サヴェジ・アソールト／野蛮な猛襲 ◆ 再チャージ ④④
必要条件：パドレイグ卿が目標を挟撃してはならない。
攻撃：近接・2(クリーチャー1体)；+17 対AC
ヒット：3d10 +7 ダメージ、目標に隣接するすべての味方は、機会アクションとして目標に対して1回ずつの近接基礎攻撃を行なうことができる。

トリガー型のアクション

←：コール・トゥ・アームズ／我が刃の下へ来たれ ◆ 遭遇毎
トリガー：パドレイグ卿が初めて“重傷”になる。
効果(フリー・アクション)：近接範囲・爆発10(爆発の範囲内の味方すべて)；目標は1回の近接基礎攻撃を行なうか、フリー・アクションとして3マスのシフトを行なうことができる。

バウンド・トゥ・ザ・デッキ ◆ 遭遇毎3回
トリガー：パドレイグ卿がイニシアチブをロールする、ヒット・ポイントが139未満になる、ヒット・ポイントが69未満になる。

効果(アクション不要)：パドレイグ卿は彼の所有するカードの中から新たなカードを引き、そのカードと関連付けられたパワーを使用する。
訳註：このパワーはシナリオ固有のパワーである。

技能：〈運動〉+15、〈歴史〉+14、〈看破〉+12
【筋】 21 (+10) 【敏】 14 (+7) 【判】 15 (+7)
【耐】 16 (+8) 【知】 18 (+9) 【魅】 19 (+9)
属性：無属性 言語：共通語
装備：チェーンメイル、ハルバード、ヘヴィ・シールド